

2013（平成 25）年度活動報告

部会長 狩野 啓子

- 4月27日 ロンドン・ノリッジ研修（3月8日～16日実施）報告会
ロンドン・ノリッジ研修をふりかえって 矢野英子（外国語教育研究所）
英国の博物館で考えた文化経済雑感 上宮健吉（特別研究員）
藍についての見聞 松枝哲哉（研究協力者）
INDIGOについて 大沼雅明（医学部）
和紙についての見聞 溝田俊和（研究協力者）
研修の成果と今後の展望 狩野啓子（文学部）
- 6月4日 「藍と和紙国際シンポジウム準備委員会」を開始 以後、頻繁に開催。
- 6月10日 公開講座「文化財保存科学とIPM」開始（久留米大学福岡サテライト）
- 6月10日 IPMコーディネーター資格制度のスタート
三浦定俊（公益財団法人文化財虫害研究所 理事長）
- 6月18日 カビ対策の最前線
大沼雅明（久留米大学医学部自然科学教室生物学准教授）
- 6月25日 藍の伝承とIPM
松枝哲哉（国指定重要無形文化財久留米絣技術保持者会 副会長）
- 7月2日 紙芝居やカルタで伝えるIPM
内田祥乃（九州国立博物館ボランティア環境部会）
- 7月9日 江戸人の書籍の守り方
大庭卓也（久留米大学文学部 准教授）
- 7月16日 日本のミュージアムにおけるIPM導入の現状と課題
本田光子（九州国立博物館学芸部特任研究員）
- 8月9日 国際シンポジウム準備委員会に吉森英雄氏（九州経済産業局地域振興課）参加。
経済産業省クールジャパンの芽の発掘・連携促進事業について説明。
- 8月24日 クララハイジとの協議（樋口さん宅）
- 9月6日 経済産業省クールジャパンの芽の発掘・連携促進事業に申請。
プロジェクト名を「日本の伝統技術を用いて文化財保存用品を創る」とする。
- 9月17日 京都の楽紙館訪問。上村芳蔵氏に面会（狩野・矢野）。
- 9月26日 新日本医薬のクララに関する説明会に出席。（リサーチパーク）
- 10月1日 「日本の伝統技術を用いて文化財保存用品を創る」が経済産業省「クールジャパンの芽の発掘・連携促進事業 プロデューサー人材派遣事業」に採択決定。
以後、年度末まで、本事業実施のために研究部会員と協力者の奔走が続いた。
その概略については、事業終了時に経済産業省に提出した「実績報告」にまとめている。（別添参照）

- 10月3日 大沼雅明、東京の文化財虫害菌研究所にて講演。
- 10月10日 IPM研修で国文学研究資料館を見学。(狩野)
- 10月11日 IPM研修で宮内庁書陵部、東京文化財研究所を見学。(狩野)
- 10月12日 一橋会館におけるIPMシンポジウムに出席。(狩野)
- 1月16日 新日本医薬のクララに関する会議に部会員が出席。(リサーチパーク)
- 1月23日 関家具訪問。
- 3月15日 東京の小津和紙店で開かれた和紙文化研究会に出席。(狩野)

(文責 狩野 啓子)